

ため池等整備事業（洪水調節機能強化型）（生活関連）

○評価視点：位置付け

評価項目：各種計画との整合性

評価指標：部の施策に関する方針等

評価要素	点数
農林水産部の施策に関する方針等に位置づけられている	10

評価項目：各種計画との整合性

評価指標：防災計画

評価要素	点数
県が策定する防災に関する計画に位置づけられている	30

評価項目：各種計画との整合性

評価指標：防災に係る計画又は協定

評価要素	点数
流域治水プロジェクトが策定された水系、又は治水協定が締結された水系で実施するもの	15

評価項目：治水活用

評価指標：重要度

評価要素	点数
防災重点農業用ため池に指定されている	30
防災重点農業用ため池に指定されていない	15

評価項目：治水活用

評価指標：貯水容量の活用

評価要素	点数
ため池を治水活用するものであって、次の①～③いずれかに該当する ① 既に農業用に利用されていないため池において、貯水容量の全部又は一部を治水活用する ② 現状農業用として利用されているが、今後、農業用として利用されない見込みがあるため池において、貯水容量を全部又は一部を治水活用する ③ 農業用に利用しているため池において、貯水容量の一部を治水活用する	15

○評価視点：必要性・効果

評価項目：事業の必要性

評価指標：明確な必要性

評価要素	点数
ため池の下流域において、一般家屋等の浸水被害実績がある、又は浸水被害が想定される	30
ため池の下流域において、農用地・農業用施設の浸水被害実績がある、又は浸水被害が想定される	15

評価項目：事業の必要性

評価指標：施設の洪水調節機能

評価要素	点数
洪水調節に必要な施設が整備されていない	10
洪水調節に必要な施設が整備されているが、洪水調節機能が不足している	5

評価項目：事業の効果

評価指標：費用対効果（B／C）

評価要素	点数
費用対効果（B／C）が1.0以上	30

評価項目：事業の効果

評価指標：下流地域における浸水被害防止

評価要素	点数
ため池下流地域の一般家屋・農用地等の浸水被害の防止又は軽減される	30

○評価視点：実施環境

評価項目：地元状況

評価指標：関係市町及び地域の合意形成

評価要素	点数
関係市町の同意が得られ、地域での話し合いにより合意が得られている	20

評価項目：地元状況

評価指標：事業推進体制の整備

評価要素	点数
市町において、事業推進のための役割が明確化されている	10

評価項目：地元状況

評価指標：維持管理体制の確保

評価要素	点数
予定管理者において、低水位操作を含むため池の維持管理のための体制が確保されている	30

評価項目：他部局との調整

評価指標：関係機関との事前調整

評価要素	点数
施設所有者、施設管理者、利水者、文化財管理者等関係者との調整が図られ、また、河川管理者、道路所有者等との協議において基本的事項が確認されている	10

評価項目：技術的可能性

評価指標：関係法令、基準等との整合

評価要素	点数
工法は妥当性のあるもので、関係法令、基準等に適合している	10

評価項目：技術的可能性

評価指標：採択要件との適合

評価要素	点数
事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合している	10

評価項目：技術的可能性

評価指標：経済性・効率性

評価要素	点数
事業費の設定が適切であり、経済的に妥当なものとなっている	10

評価項目：環境等

評価指標：環境との調和に配慮 : 定性評価

評価指標：生活環境対策 : 定性評価

評価指標：コスト縮減策 : 定性評価

#### ○評価基準

評価	(1)位置付け	(2)必要性・効果	(3)実施環境
A	80点以上	80点以上	80点以上
B	60点以上80点未満	60点以上80点未満	60点以上80点未満
C	60点未満	60点未満	60点未満

#### ○判断基準

ランク	箇所整備方針	組み合わせ
I	優先的に事業を実施	A A A A A B
II	事業を実施	A B B B B B
III	新規着手を見合わせる	A A C A B C A C C B B C B C C C C C

